

# 管理サーバの OS の administrator のパスワード変更手順

## 対応バージョン

SSC1.1 / SSC1.2 / SSC1.3

## 概要

管理サーバの OS の administrator パスワードを変更する場合は、SystemMonitor 性能監視に影響があります。

管理サーバの OS の administrator パスワードを変更する場合の、設定変更手順を記載します。

## 【SystemMonitor性能監視】

以下の場合、設定しているパスワードを変更する必要があります。

### 1.SystemMonitor 性能監視の性能監視サービスの実行アカウントのパスワードが変更される場合

#### [設定の確認方法]

- 1) SystemMonitor 性能監視の管理サーバ上で、[スタート]メニューから、サービススナップインを起動します。
- 2) 右ペインにサービスの一覧が表示されますので、以下のサービスを右クリックし、[プロパティ]を選択します。  
"SystemMonitor Performance Service" ... SSC1.1  
"System Monitor Performance Monitoring Service" ... SSC1.2, SSC1.3
- 3) プロパティダイアログが表示されますので、[ログオン]タブを選択します。
- 4) 設定されているアカウントが対象のアカウントであるかどうか確認します。

#デフォルトは"ローカルシステムアカウント"となっているので、変更の必要はありません。

#### [設定の変更方法]

- 1) 上記のプロパティダイアログから実行アカウントのパスワードを変更します。
- 2) サービスを再起動し、正常にサービスが開始されることを確認します。

### 2.SystemMonitor 性能監視の管理コンソールで性能監視サービスとの接続アカウントのパスワードが変更される場合

#### [設定の確認方法]

- 1) SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
- 2) パスワードが変更される管理サーバのアイコンを右クリックし、[接続]->[設定]を選択します。
- 3) 管理サーバダイアログが表示されますので、アカウントが対象のアカウントであるかどうか確認します。

#### [設定の変更方法]

- 1) 上記ダイアログで接続に利用するアカウントのパスワードを変更します。
- 2) [OK]ボタンを押下し、性能監視サービスとの接続が成功することを確認します。

### 3.SystemMonitor 性能監視の監視対象マシンとして、管理サーバが登録されており、そのサーバの接続設定のアカウントのパスワードが変更される場合

#### [設定の確認方法]

[SSC1.1, SSC1.2 の場合]

- 1) SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
- 2) パスワードが変更される管理サーバを管理対象としている管理サーバのアイコンを右クリックし、[環境設定]を選択します。
- 3) 環境設定ダイアログが表示されますので、[接続]タブの Windows サーバへの接続アカウントが対象のアカウントであるかどうか確認します。

[SSC1.3 の場合]

- 1) SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
- 2) パスワードが変更される監視対象マシン(管理サーバ)のアイコンを右クリックし、[サーバ設定]を選択します。
- 3) サーバ設定ダイアログが表示されますので、[接続]タブの接続アカウントが対象のアカウントであるかどうか確認します。

#### [設定の変更方法]

[SSC1.1, SSC1.2 の場合]

上記ダイアログの接続アカウントを変更することで 管理サーバの性能データは収集可能となりますが、上記ダイアログの設定は、管理サーバで管理している監視対象マシン全てに対して有効な設定となります。

したがって、この設定変更を実施しますと、その他の管理対象マシンに対する接続に利用するアカウントも変更されることとなりますのでご注意ください。

[SSC1.3 の場合]

上記ダイアログの接続アカウントを変更することで 管理サーバの性能データは収集可能となります。

SystemMonitor 性能監視設定の詳細については、「SystemMonitor 性能監視 ユーザーズガイド」を参照してください。

作成日 : 2008/02/13